

富浦協働つうしん

謹賀
新年



富浦地域づくり協議会「さざなみ」池田礼子会長挨拶



皆さま、新年明けましておめでとうございます。昨年中は富浦地域づくり協議会「さざなみ」の活動に多大なるご理解とご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。令和8年（2026年）は午年（うまどし）で、十干十二支では丙午（ひのえうま）にあたります。丙午は60年に一度巡ってくる特別な年で、力強さや行動力、変化を象徴し、運気上昇や開運の年と期待される年でもあります。さざなみは老若男女みんなの力で富浦を元気にしていきたいと考えています。地域づくりの活動は決して難しいことはしておりません。丙午の今年に一人ひとりができることから一歩を踏み出して、富浦地区を元気にしてまいりましょう。今年もよろしくお願いいたします。

地域の力で守る命～共助による避難所運営のあり方～

12月14日にとみうら元気倶楽部さざなみホールで防衛省航空自衛隊OBの大角康彦氏による共助による避難所運営のあり方と題した講演が行政区役員、防災士、市職員対象に開催されました。青森県で大きな地震が発生したばかりということもあり、冷たい雨が降る寒い天気にも関わらず会場は満席となりました。今回は紙幅の関係でポイントのみレポートいたします。新年早々防災の話ですが、能登の震災は元日に発生したことは忘れられません。なぜ「共助」（住民同士による助け合い）か？

- 実際到大震災が発災すると行政職員も被災し、3～4割程度しか登庁できないと推定される。その人数で事務を回し現場対応をしなければならない。よって共助は必須である。
- 最近の災害では「観測史上初」という言葉が当たり前になってきてしまった。
- 「指定緊急避難場所」「指定避難所」の違いがわかるか？市のHPに詳細紹介されている。
- 発災後も自宅で生活できる方は在宅避難を推奨。防犯面(火事場泥棒が必ずいる)・精神衛生面からも望ましいので、それを追求して欲しい。ローリングストックは3日分
- 自宅が倒壊してしまった方は指定避難所への避難が選択肢となる。避難所は開設後の混乱を避けるため事前の会場準備が必要でその成否がその後の運命を決する。
- 大震災発災時は何よりも自分自身の命を守る。火は余裕があれば消すで良い。
- 訓練しても100点はとれない。ましてや訓練でできないことは本番でできない。
- ご近所防災マップを作成してみてもどうか。危険個所をマークすることで認識できる。
- 防災に関して空振り三振はOK、見逃し三振は避けなければならない。

南房総市老人クラブ連合会富浦支部演芸大会

和やかに・賑やかに行われました

12月11日の午後、とみうら元気倶楽部のさざなみホールの座席がほぼ満席になる状況で標記演芸大会が開催されました。カラオケ、詩吟、踊り、楽器演奏、健康体操そして最後は皆で踊って合唱で閉会となりました。言葉よりもお写真を通じて皆さんの盛り上がりぶりをご堪能ください。



受付風景



会長挨拶



会場は満席でした



熱唱



熱唱



池田豆腐店のおばあちゃんは101歳のお誕生日！



歌謡詩吟



見事なマジック



会長も歌を披露



合唱



仲良くデュエット



踊りも披露



ウクレレの優しい音色も マジックでは会場の方も参加 最後は大人数で踊りました



富浦地域づくり協議会「さざなみ」の予定

1月14日（水）13:30～15:00 ロコモ体操教室@とみうら元気倶楽部

1月25日（日）10:00～12:00 びわっこガーデン遊び場開放@富浦中央児童遊園

1月28日（水）13:30～15:00 ロコモ体操教室@とみうら元気倶楽部

企画・編集：富浦地域づくり協議会「さざなみ」地域づくり支援員

email tomiura.sazanami@gmail.com

☎ 0470(33)3412

びわっこガーデン

2月3日は
節分です

豆まき大会



節分は、季節の変わり目に邪気を払い、福を呼び込む伝統行事です。
今年もみんなで福を呼び込みましょう！

日時：令和8年2月1日（日）10：00～11：30

場所：富浦中学校体育館（富浦町青木249番地1）

※お車は市役所駐車場をご利用ください。

参加費：無料

定員：80人 ※年齢制限ありません。どなたでもご参加できます！



お申込みはこちら

⚠ 当日は寒さ対策万全に！スリッパまたは室内履きをお持ちください。

木村庸一さん 秋の叙勲で消防功労 瑞宝単光章受章

既に多くの皆さまがご存じのとおり、南無谷在住の木村さんが秋の叙勲で消防功労として瑞宝単光章を受章されました。それを記念してお話を伺う機会を得ました。消防団入団のきっかけはお父様も団の役員をやっていたこともあり、特段の勧誘を経ずに団への入団を意味する「半纏を持ってくる」という声に従い入団されたそうです。当時は近隣で仕事をしている人は総じて団に加入していて、漁師さんは海に出て音が拾えないので勧誘対象にはなっていなかったとのことでした。長く団の生活を続けたモチベーションはやはり人との繋がりとのことでした。上下・左右と時に命をはる消防団ですので、緊張もありながら組織の中の人間関係はとても良かったそうです。木村さんご自身も上位者として団を引っ張ってきた存在でもあります。火事場の場数は沢山踏んだものの、最も印象に残っているのは令和元年の台風15号とのこと。がれきの撤去、安否確認、水の運搬等市の本部と連携しながら昼夜奔走されていたそうです。富浦にお住まいの皆さまも多かれ少なかれご経験されたことと思いますが、消防団のその厳しさから消防操法自体を行わない消防団が増えてきているそうです。また各地の活動で消防団員が死傷されたニュースには木村さんも同士として大変心を痛めていらっしゃることも伺えました。消防団を退団された後も防災への志を失うことなく赤十字防災ボランティア登録を行い、能登半島地震の被災地にも複数回ボランティア活動に赴いたそうです。木村さんと防災に関するお話をしていると時間が経つのを忘れてしまいます。様々な困難なご経験からにじみ出てくる懐の深いお人柄と飾らない話しぶりにすっかり魅了されました。昨今は若年層の人口減少もあり、消防団の維持・発展も非常に厳しい局面を迎えています。どうか木村さんの受章をきっかけに改めて消防団への思いを再確認しましょう。



活動に支えられた方も多いのではないのでしょうか。

一方で良い思い出としては消防操法大会で千葉県で優勝し、全国大会に出場したこと。消防操法はチームの規律と頭の先からつま先、はたまた指の先までピンとしないといけない非常に厳しい所作が要求されるもので最近では

富浦小学校マラソン大会レポート

11月27日午前中、少し風はありましたが、快晴のポカポカ陽気の中、富小恒例のマラソン大会が開催されました。学年毎にスタート、完走後に次の学年が走って6年生まで皆さん元気に原岡浜を駆け抜けました。校庭や沿道には沢山の親御さん、お爺ちゃん・お婆ちゃんも大きな声で声援を送る姿が。また多くのボランティアの皆さんがSTAFFのビブスをつけてコース周辺を守ってくださいました。砂浜を駆けるのはとても大変だと思いますが、皆さん各自の力を振り絞ってゴールまで駆け抜けていました。沢山の小学生の勇敢な姿に皆さんも元気を貰ったように感じました。



クリスマスパーティー&おはなし会イベント報告

12月14日(日)にとみうら元気倶楽部で標記イベントを開催しました。当日はあいにくの雨にも関わらず大人、子どもあわせて46人もの参加者の皆さんをお迎えできました。ご来場くださった皆さま、ありがとうございました。さて、今回は大きく4本だてのイベントで、第一部は絵本の読み聞かせを中心に。大型絵本「ぐりとぐらのおきやくさま」を読み、続いてパネルシアター「あわてんぼうのサンタクロース」では、音楽にあわせてイラストを動かし、子どもたちと一緒に歌を歌いました。第二部は牛乳パックツリー作りです。お皿の上に事前に準備したオーナメント素材をバイキング形式のようにピックアップし、それを牛乳パックで作ったツリーへのりで貼り付ける工作を行いました。見本以上に素敵な作品が仕上がりました。第三部はクリスマスソングを皆で歌い、最後の第四部ではお楽しみビンゴ大会を行いました。最後にはサンタさんからのプレゼントもあり和やかに開催できました。

